

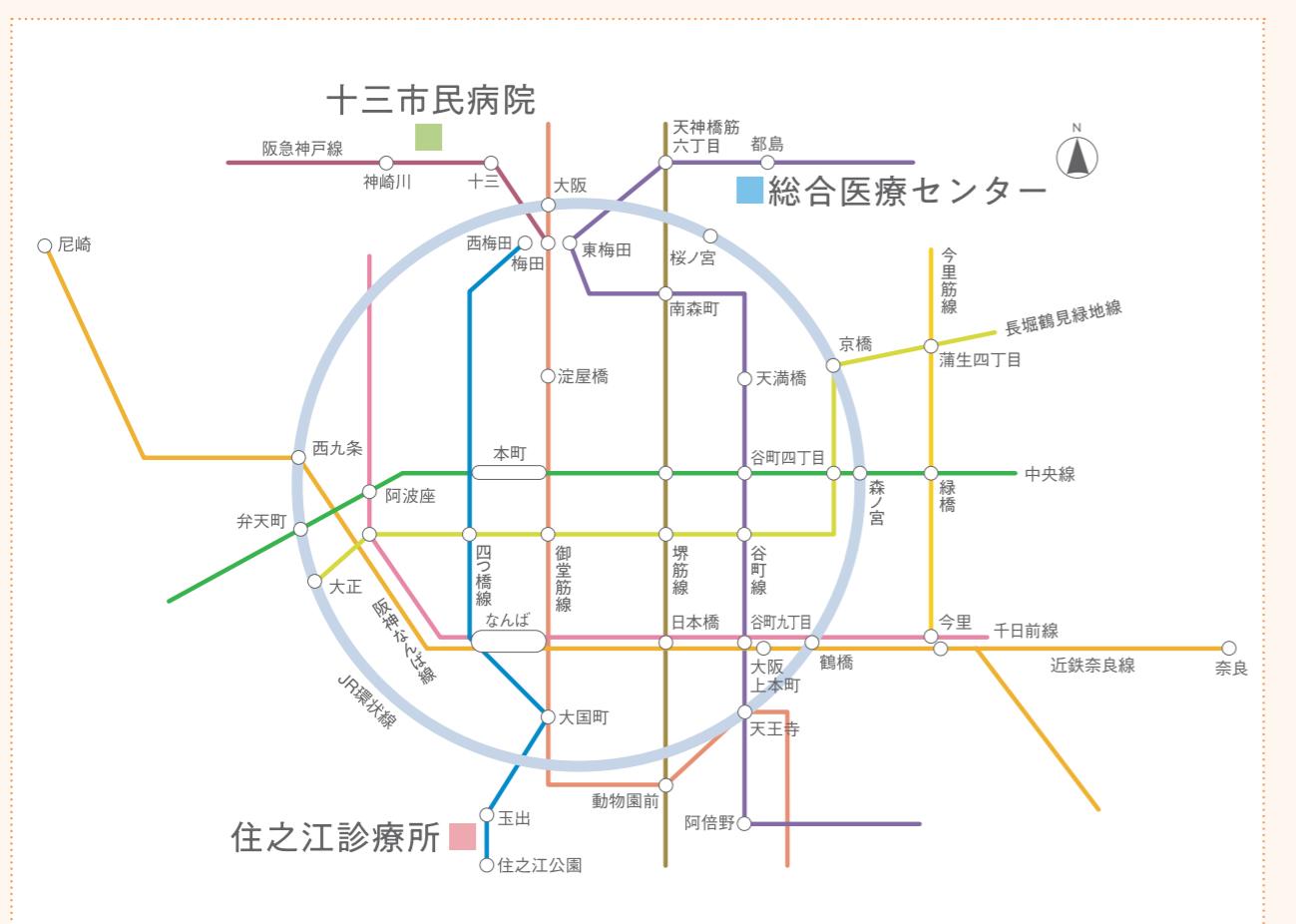
MEDICAL STAFF

医療技術職員・事務職員
募集案内

OSAKA CITY HOSPITAL

ACCESS GUIDE

[アクセスガイド]



十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12番27号
TEL.06-6150-8000



●阪急神戸線「神崎川」駅から南東へ徒歩約8分

総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-1221



●大阪メトロ谷町線「都島」駅2番出口から西へ徒歩約3分
●JR大阪環状線「桜ノ宮」駅東出口から北へ徒歩約7分



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-3687 FAX.06-6929-7099
<http://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/>



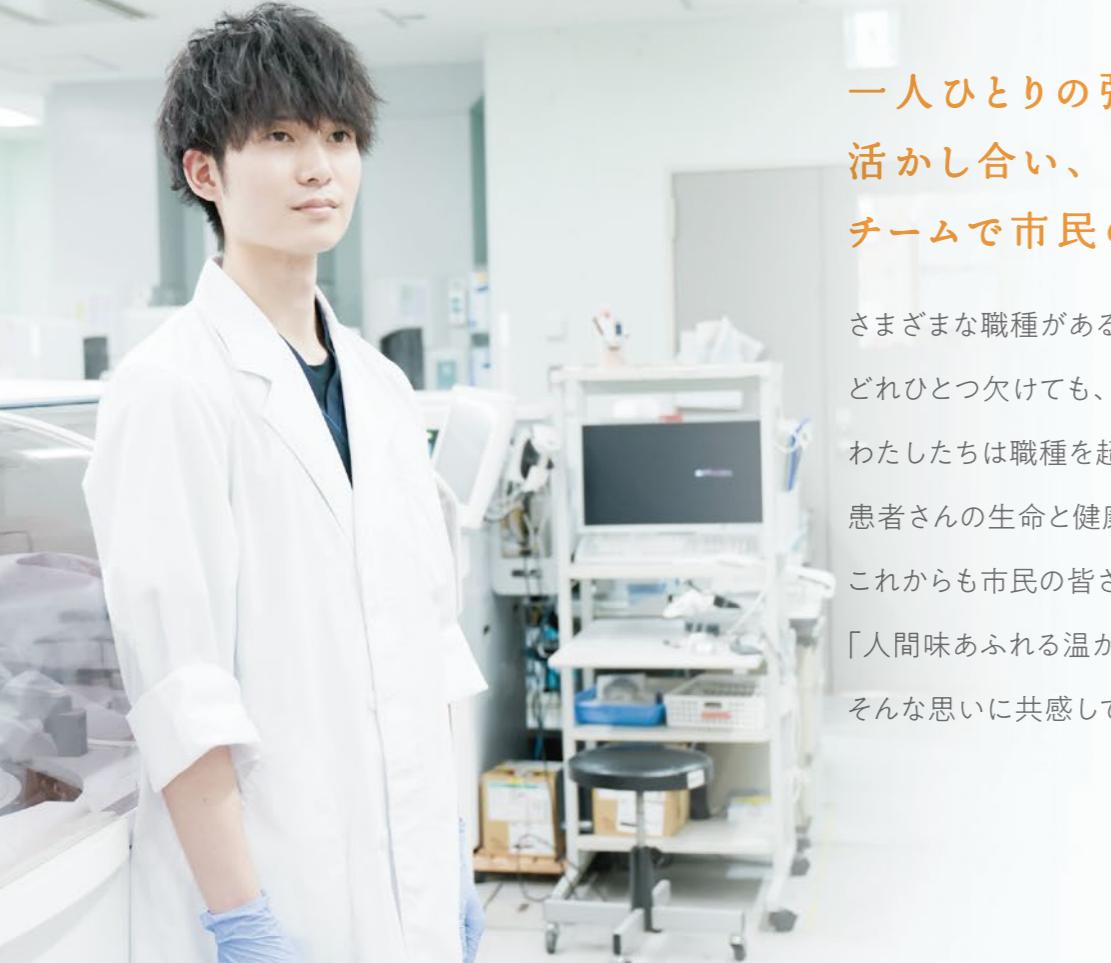
令和5年2月



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

大阪市立 総合医療センター | 大阪市立 十三市民病院 | 大阪市立 住之江診療所

市民とともに、 明日へ。



一人ひとりの強みを
活かし合い、
チームで市民の思いに応えます。

さまざまな職種がある医療職。
どれひとつ欠けても、医療は成り立ちません。
わたしたちは職種を超えて連携し、
患者さんの生命と健康を守っています。
これからも市民の皆さんに信頼される
「人間味あふれる温かな医療」を実践したい。
そんな思いに共感してくれる仲間を待っています。

OSAKA
CITY
HOSPITAL
3 POINT

○1

人々の安心を守る
最後の砦(セーフティネット)

大阪市の中核病院として、
総合的かつ良質な高度専門医療を提供。
人々の健康と安心を守る“最後の砦”として
市民の信頼に応えます。



○2

地域がん診療連携拠点病院
小児がん拠点病院

「地域がん診療連携拠点病院」と
「小児がん拠点病院」の指定を受け、
幅広い年齢層に対して専門的で質の高い
がん医療を提供しています。



○3

目標・目的に応じて選択できる、
充実の研修内容

経験年数や習熟度に応じた
教育制度が用意されています。
目標・目的に応じた研修を受講し、
確実にキャリア開発することができます。

大阪市民病院機構の基本理念

広く市民に信頼され、人間味あふれる温かな医療を提供する病院をめざします

基本方針

1. 患者の健康に生きる権利と人間としての尊厳を尊重します
2. より安心で信頼できる良質な高度専門医療を提供するとともに、医療水準の向上へ貢献します
3. 大阪市の中核病院として、地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化します
4. 医療を支える優れた人材を育成します
5. 職員が意欲的に働くことのできる、働きがいのある職場環境を作ります
6. 継続して良質な医療を提供できるよう、健全な経営基盤の確立に努めます

大阪市民病院機構の「3C」



CHALLENGE

常に問題意識を持ち変化を恐れずに
目標に向かって行動できる人

COMMUNICATION

病院で働くすべての職員と協力し課題解決にあたれる人

CREATIVE

既存の方法・慣習にとらわれることなく
自由な発想で仕事ができる人



薬剤師

患者さんと誠実に向き合う
質の高い薬剤師を育成。



→ INTERVIEW ←



文 英賢さん

大阪市立総合医療センター
薬剤部 病棟部門 病棟 所属

最新の知識で、
チーム医療に貢献する。

54の診療科があるため、主要疾患から希少疾患まで多様な治療に関わることができるのが当院の魅力。日々世に出続ける新薬に対応するため知識をアップデートしていくのは大変ですが、その知識を活かしてチーム医療に貢献できたときの喜びはとても大きいです。

研修について

1 薬剤師レジデント制度

平成27年4月より薬剤師実務研修生(レジデント)制度を導入しました。これは、調剤業務、臨床研究、病棟業務などの病院薬剤業務の基本的な技術を身につけるとともに、高度医療に対応した臨床薬剤業務およびチーム医療に貢献できる薬剤師の育成を目的とした制度です。研修期間は2年で、日本医療薬学会研修ガイドラインに基づいた独自プログラムによる研修を行います。

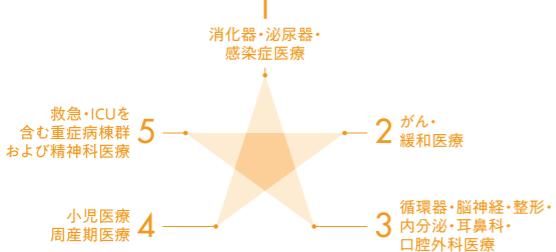
2 年間の充実のカリキュラム

研修期間は前期(3ヶ月間)、中期(10ヶ月間)、後期(11ヶ月間)に分かれています。前期は調剤、注射調剤、TPN調製などのセントラル業務を中心に行い、病院薬剤業務の基本的な技術を習得します。中期は5つの診療科領域をほぼ2ヶ月間ごとにまわり、薬剤管理指導業務を実践的に習得します。後期は専門・認定薬剤師取得をめざし、専門領域での薬剤管理指導業務を学びます。

3 希望領域の資格取得をめざす

薬剤部には、がん専門薬剤師、NST専門療法士、緩和薬物療法認定薬剤師、HIV感染症薬物療法認定薬剤師といったさまざまな専門・認定薬剤師が在籍。後輩育成のために指導を行っており、希望する領域での資格取得をめざすことができます。さらに当院は日本医療薬学会より「がん専門薬剤師研修施設」に認定されており、がん専門薬剤師の研修も受けることができます。

レジデント研修で、5つの診療科領域を経験できる。



医療技術職

医療を支えるプロフェッショナル。

医療技術職員は、各部門、各診療科で医療のスペシャリストとして業務に取り組んでいます。安心で安全な医療を提供するために、情報共有や勉強会、研修会、学会参加、資格支援などの活動を行っており、医療技術職員としての質の高い医療実践能力を磨いています。

医療技術職

臨床検査部門	診療放射線部門	リハビリ・臨床工学部門	診療支援部門
臨床検査技師	診療放射線技師・医学物理士	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床工学技士	管理栄養士・視能訓練士・歯科衛生士・社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師・保育士



O1 臨床検査部門 臨床検査技師

チーム医療の一員として専門性を磨く。

検体検査、微生物検査、輸血検査など、多様な検査を院内で実施でき、なおかつ24時間対応できる体制を整えています。「安全・正確・迅速」を理念とし、国際規格「ISO15189」を取得。さらには、チーム医療の参画や認定資格のチャレンジなど、検査技師として専門性を伸ばせる環境を完備しています。

→ INTERVIEW ←



池本 真哉さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部 臨床検査部門
輸血 所属

専門性の高い細胞治療を経験できる。

輸血に関連した検査、および血液センターから供給される輸血用血液製剤や、院内で採取する貯血式自己血の管理など、輸血療法に関連する業務全般を担当しています。末梢血幹細胞採取など、他の病院ではあまり経験できない細胞治療に携わることができ、より専門的な医療を経験できることが当院の魅力だと思います。



O2 診療放射線部門 診療放射線技師

医療で求められる多種の放射線検査に対応する。

中央放射線部では、質の高い放射線診断画像を提供できるように最新の放射線診断機器を駆使し、専門知識をもったスタッフが放射線診断・治療業務を行っています。採用1年目には、救急業務(X線撮影・CT撮影・血管撮影またはMRI検査)を習得し、その後も広範囲な技術を身につけられるように業務、研修に取り組みます。

→ INTERVIEW ←



藤本 龍太郎さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部 診療放射線部門
放射線診断 所属

全てのモダリティで、専門的な指導を受けられる。

採用1年目はさまざまな研修を受け、救急業務を身につけます。その後数年かけて全てのモダリティに触れジェネラリストをめざした後、深く学びたいモダリティを選択し、専門性を磨いていきます。多種多様な技師の先輩がいるため、どのモダリティでも専門的な知識を持った先輩から指導、アドバイスを受けることができるのが大きな魅力です。



O4 リハビリ・臨床工学部門 言語聴覚士

他職種と連携し、言語と聴覚のリハビリを行う。

成人言語領域、小児言語領域、聴覚領域の各領域を横断しながら入院・外来患者への対応を行っています。急性期リハビリに特化し他職種と連携しながら早期から携わるほか、小児の言語障がい全般に対する評価・指導、重度難聴患者に対する人工内耳術後の聴覚言語訓練なども行います。

→ INTERVIEW ←



チーム医療の一員として専門性を発揮する。

摂食嚥下支援チームの一員として、嚥下ラウンドを実施し、患者さんの食事をサポートしています。他職種と連携して患者さん一人ひとりの方針などについて検討する際にチーム医療の一員として専門性を発揮できたときには、この仕事をしていてよかったです。



O3 リハビリ・臨床工学部門 理学療法士

チーム医療の一員としてのリハビリテーション。

患者さんの身体機能の回復や、ADL(日常生活動作)、QOL(生活の質)の向上を目指して、早期からリハビリテーションを実施します。運動器、脳血管、呼吸器、心臓大血管、廃用などに問題を抱えた、多種多様な患者さんに対応するため、幅広い知識と技術が必要とされます。

→ INTERVIEW ←



患者さんの日常復帰をサポートする。

筋力や持久力が落ちてしまった患者さんに安全で簡易な運動の指導を行ったり、手術後で体が動きにくい患者さんに簡易な動作の方法を指導し、日常生活動作の自立を支援したりしています。落ち込んでいた患者さんがリハビリを通して「頑張ります」と前向きになっていただけたときや、指導を通して患者さんが動けるようになってくれたときにやりがいを感じます。



O6 診療支援部門 管理栄養士

他職種と密に連携しながら、栄養管理に取り組む。

食事は治療の一環であるという考え方から、安全で美味しく治療効果の高い食事を提供し、医師・看護師の協力のもとチーム医療で患者さんの栄養状態の改善に取り組んでいます。入職初期の研修では栄養指導見学や業務の流れを学ぶことから始めています。

→ INTERVIEW ←



他職種と連携し、患者さんの栄養状態を改善。

安全で美味しく治療効果の高い食事を提供したり、医師や看護師など、他職種のスタッフと連携し、栄養管理や栄養指導を行ったりしています。患者さんの栄養状態が改善していく過程に関わることができたときや、患者さんに「ありがとう」や「食事のことが不安だったから聞けてよかった」と言っていただいたときにやりがいを感じます。

O5 リハビリ・臨床工学部門 臨床工学技士

全国有数の手術件数を支える医療機器のスペシャリスト。

重症病棟業務、人工心肺業務、TAVI業務、アブレーション業務、心臓カテーテル業務、血液浄化業務、内視鏡業務、ME業務、手術センター業務、SPD業務などを行います。これら業務で医療機器を操作するほか、医療機器の保守・点検を通して、治療の安全性確保にも貢献しています。

→ INTERVIEW ←



さまざまな場で活躍するため日々学び続ける。

血液浄化、内視鏡、病棟ラウンド、集中治療、カテーテル業務など、業務内容は多岐にわたります。臨床工学技士は、院内さまざまな場で活躍できる職種だと思います。その分日々の学びは必須ですが、そこがやりがいもあります。自分が思い描く臨床工学技士に近づけるよう、一緒に頑張っていきましょう。





O8 診療支援部門 歯科衛生士

口腔ケアを通して、患者さんをサポートする。

当院の歯科衛生士は、さまざまな疾患を持った入院患者さんに安心して治療を受けてもらうため、他職種と連携し、口腔ケアの専門的知識を発揮することが求められます。それらの能力を養うため、がんサロンをはじめとした院内講義や、厚生労働省が行う緩和ケア研修などの機会を用意しています。

→ INTERVIEW ←



入院中の不安を取り除き、治療に集中してもらう。

周術期対象を主とした入院患者への専門的口腔ケアや外科処置、矯正におけるアシスタント業務を行っています。口腔ケアを行うことにより治療に悪影響を及ぼさないようにするだけでなく、入院中の不安を少しでも取り除き主科の治療に集中できるよう繋げることができたとき、特にやりがいを感じます。



O7 診療支援部門 公認心理師

他職種と連携・協働し、心理的支援を行う。

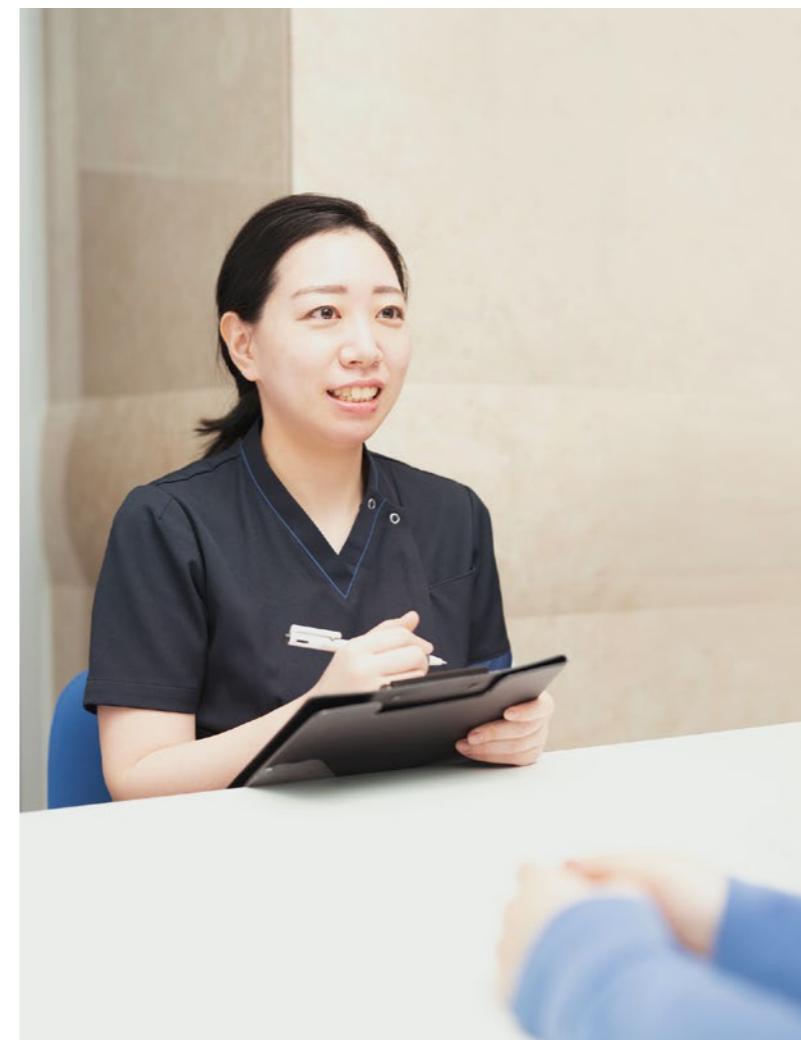
公認心理師は児童青年精神科、精神神経科(成人)、周産期、精神科リエゾン、認知症ケア、緩和ケア、遺伝カウンセリングなど、さまざまな領域で他職種と連携・協働しています。多様な業務に対応するため、先輩心理師によるスーパーヴァイズや学習会開催など、サポート体制も充実しています。

→ INTERVIEW ←



面接室や検査室に留まらない臨床活動ができる。

先輩心理師がたくさんいるため、相談しやすい環境で働くことができます。チーム医療としての活動では多種多様な症例に触れることができ、面接室や検査室に留まらない臨床活動ができます。真剣に対象者と向き合った経験やそこで得た知識は、絶対に無駄にならないので、目の前のことを見つめ丁寧に頑張っていくことがとても大切だと思います。



O9 診療支援部門 社会福祉士

多角的な視点で患者さんの支援に携わる。

多様な診療科や医療チーム、特殊な病棟が存在する当院の医療ソーシャルワーカーには、横断的に多角的な視点で患者さんを支援し、院内外の調整ができる力が必要です。そのため、異なる立場や視点を持つ当院の各室・センター・PSWと早期から連携・協働し、ともに学び合う場を数多く用意しています。

→ INTERVIEW ←



自分の成長を実感できる環境。

治療を受ける上で患者さんとご家族が抱える悩みや問題を見つけ出し、解決のために支援しています。地域の中核機関として、新生児から高齢者まで、あらゆる診療科があるのが当機構の特徴。そのため、多角的な視点での支援が必要となります。身につけるべき知識が多く、人としての対応力も求められますが、その分成長を実感できる機会も多いです。



O10 診療支援部門 視能訓練士

幅広い年齢層の眼科検査を行う。

眼科と小児眼科があり、新生児から高齢者までの幅広い年齢層の眼科検査を行っています。他施設では経験できないような乳幼児の検査もあり、視能訓練士として技量を高めることができます。視能訓練士の重要な業務の一つである、脳神経外科の手術前後に行う動的視野検査も数多く行っています。

→ INTERVIEW ←



数多くの症例に関わり技術を向上できる。

視力や視野検査などの眼科検査全般を行っています。乳幼児の弱視訓練にも力を入れており、患児の視力が向上し、笑顔が増えることとてもやりがいを感じます。他科と連携して診療を行っているため、数多くの症例に携わることができます。困難な症例も多いですが、先輩方や医師へ質問がしやすいので、その都度問題を解消し、技術を向上できます。

事務

専門性を活かして
患者さんと病院を支える。

医療事務や総務、財務といった業務を担当します。医療事務は、病院の主な収入源である診療報酬請求を始めとした、一般企業にはない病院特有の事務業務を行います。総務業務は、職員の採用や退職、給与・福利厚生、広報を含む対外的な業務など、幅広い業務を行います。財務業務は、予算案の策定、資金管理から物品の調達まで、経営資源である「お金」と「モノ」を通じて、病院運営を支える業務です。地域の皆さんと医療スタッフを円滑に結び支えることができるよう日々の業務を事務職員皆で協力して行っています。

研修について

採用1年目には新人研修があります。この研修では、自身の業務がどのように病院事業を支えているのか肌で感じることができます。そのほかに社会人としての接遇研修やスキルアップ研修なども別途行っています。



INTERVIEW

病院事務職員 出口 羽唯さん

大阪市立総合医療センター
医事・医療情報部 医事課 入院 所属

事務の立場から 現場医療をサポートする。

主に入院患者さんの退院精算や事務書類の処理を行っています。医事課での業務は病院全体の収益の大部分に関わる仕事です。直接医療に関わることはありませんが、診療報酬請求による収益を確保とともに事務の立場から医療現場で働く医療職をサポートすることができます。収益面とサポート面で病院に貢献できるとてもやりがいのある仕事です。一緒に働くことが出来る日を楽しみにしています。



病院事務職員 吉田 知世さん

大阪市立総合医療センター
総務部 総務課 廉務 所属

医療従事者を支え、 安心・健康な暮らしに貢献。

テレビ局や新聞社からの取材対応、広報誌の作成、医師が所属する各種学会などの会費の支払いを担当しています。私の部署は患者さんと接する機会が少なく、医療従事者と接する機会が多いのですが、医療従事者の役に立つことで、間接的に患者さんの役に立てたと感じられる非常にやりがいのある仕事です。病院事務は、私たちの安心・健康な暮らしに欠かすことのできない医療を支える仕事です。少しでもこの仕事に興味を持っていただき、共に働くことが出来れば嬉しいです。



医療アシスタント 石川 聖奈さん

大阪市立総合医療センター
医事・医療情報部
診療支援センター 所属

医師と患者さんの間で 診察をスムーズに。

検査オーダーや、患者さんの呼び込み、手術の同意書作成などを通じて、医師が診察をスムーズに行い、患者さんとの対話の時間を増やす仕事をしています。医療アシスタントという職業は、医師の一番近くで診察に関わり、高度な医療に触れることができる点が魅力です。入職後の研修に加え、定期的に行われるフォローアップ研修で専門的な知識を身につけることができ、医療アシスタントとして成長できる環境です。



HOSPITAL GUIDE

[大阪市民病院 機構 病院ガイド]



大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2丁目13番22号 | TEL:06-6929-1221

高度な医療技術を駆使し 54の診療科で市民のニーズに対応。

最新の医療機器と高度な医療技術を駆使して、24時間体制で救命救急医療を提供しています。また、各診療科で専門的医療を行い、特に「がん・心疾患・脳血管疾患」の三大疾患を中心とした高度医療に対応するため、臓器別に診療科が編成されているほか、ハイリスク周産期医療から小児科分野における高度医療、感染症医療にも取り組んでいます。常に市民のニーズに応えられるように、更なる病院機能の向上に努めています。



高度な専門性により、数多くの学会からも施設認定を受けています。
研修施設・教育施設として次代の医療を担う人材を育成する役割も
担っており、多岐に渡る経験ができます。



大阪市立十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12番27号 | TEL:06-6150-8000

19の診療科を有する 地域密着型の急性期病院。

各科が専門性の高い医療を行っていますが、市民病院として地域の皆さんに寄り添い、信頼していただける医療の提供を目指しています。地域の医療機関からの紹介や二次救急の受け入れなど、高度な医療技術を必要とする検査や手術を提供するとともに開業医などと連携した全人的医療への貢献を果たしています。診療科間の垣根も低くアットホームな雰囲気も特色です。また内視鏡センターでの苦痛のない検査・治療を推進するなど患者さんから高い評価を得ています。地域住民のニーズに応えられるように常に病院機能の向上に努めています。



地域密着型の中規模病院として、19の診療科を有しています。
がんをはじめとした急性期医療ならびに結核医療などの専門的な医療の提供を行っています。

施設認定など

- 日本医療機能評価機構認定病院
- 救急告示病院(第2次救急医療機関)
- 大阪府がん診療拠点病院
- 市町村災害医療センター
- 新生児診療相互援助システム基幹病院
- 赤ちゃんにやさしい病院(BFH)
- 臨床研修指定病院(協力型)